

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動器系理学療法評価学演習	PSP22-007	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
源 裕介 他	D309	yusuke.minamoto	水曜日 16:20-17:20		
授業の目的・概要	骨関節障害を引き起こす主な疾患の病院、病態生理、症候、診断について学ぶ。運動器疾患に対する理学療法士としての思考過程を理解し、各病態に対応した評価に関する検査・測定 of 技術を身につけ、理学療法計画の立案ができるようになることを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	運動器疾患の基本的な知識を整理し、部位・疾患別に講義を行う。基礎科目の知識を応用し、理学療法の実際に転換する思考を学習する。				
教科書	Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学 第1版/編集：加藤浩/メジカルビュー社				
参考書	運動器疾患の機能解剖学に基づく評価と解釈 上肢編 林 典雄 / 運動と医学の出版社 運動器疾患の機能解剖学に基づく評価と解釈 下肢・体幹編 林 典雄/ 運動と医学の出版社				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	運動器疾患の病態について理解する。			RH(1)、(5)	
②	各運動器疾患に対する理学療法評価を立案することができる。			RH(1)、(5)、(6)	
③	運動器疾患に必要な検査・測定を行うことができる。			RH(1)、(5)、(6)	
④	評価結果の解釈をし、理学療法計画を立案することができる。			RH(1)、(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	運動器系理学療法評価学総論について学習する。	[担当] 源	講義	運動器疾患の評価の概論について学習する	1
2	変形性股関節症の評価について学習する。	[担当] 源	講義・実技	変形性股関節症の課題について実施する	1
3	変形性膝関節症の評価について学習する。	[担当] 源	講義・実技	変形性膝関節症の課題について実施する	1
4	骨折 (大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折等) の評価について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	骨折の概要についてまとめる	1
5	脊髄損傷 (頸髄) の評価について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	脊髄損傷の概要についてまとめる	1
6	脊髄損傷 (腰髄) の評価について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	脊髄損傷の概要についてまとめる	1
7	脊椎疾患、腰痛症の評価について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	脊椎疾患の概要についてまとめる	1
8	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯症) の評価について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯症) の概要についてまとめる	1
9	運動器不安定症の評価について学習する。	[担当] 坂本	講義・実技	運動器不安定症の概要についてまとめる	1
10	骨折、足部障害の評価について学習する。	[担当] 坂本	講義・実技	骨折の概要についてまとめる	1
11	上肢の脱臼、靭帯損傷の評価について学習する。	[担当] 源	講義・実技	肩関節脱臼、及び靭帯損傷の課題について実施する	1
12	肩関節周囲炎、腱板損傷の評価について学習する。	[担当] 源	講義・実技	肩関節周囲炎、腱板損傷の課題について実施する	1
13	下肢の靭帯損傷 (半月板含む) の評価について学習する。	[担当] 源	講義・実技	下肢の靭帯・半月板損傷の課題について実施する	1
14	その他運動器疾患 (胸郭出口症候群など) の評価について学習する。	[担当] 源	講義・実技	その他の運動器疾患の課題について実施する	1

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

15	運動器疾患に関する臨床推論について学習する。	[担当] 源	講義・実技	運動器疾患について、GW 等などで臨床推論を学習する。	1
試	筆記試験				

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	各疾患の病態に対する理解、理学療法評価・理学療法計画ができるかを確認するために筆記試験（国家試験形式）を行う。	終了後、確認に来た学生には、答案の解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備考

他担当教員	関口 賢人、坂本 祐太
教員の実務経験	急性期及び回復期病棟（主に整形及び中枢疾患）において2年間従事し、その後整形外科（小児・スポーツ含む）専門のクリニックにて10年以上従事。
実践的授業の内容	臨床現場に多い運動器系疾患に関する講義を行い、症例を提示した実践的な学習課題を提供する。 疾患特異的な評価方法の実際や治療手技の内容を指導する。

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

そ の 他	課題のフィードバックは、課題の解説にて返却する。意見交換については、原則として授業時間内にメールや Teams でも随時対応を行う。今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。
-------	--